

私のまち活性化委員会事業計画

委員長	八木	崇博
副委員長	小谷	茂
副委員長	諸原	孝政
幹事	佐藤	宣夫
幹事	博田	亮輔

【基本方針】

平成の大合併により誕生した新上越市。その中核である高田と直江津両市の合併から45年が経過しました。その間、郊外には大規模店舗や住宅が集積し、人・物の流れが変わりました。そして突入した人口減少社会。それらの影響もあり、現在両地域の中心市街地は、様々な問題を抱えています。結果、残念ながら中核地域としてそれぞれの魅力を十分に発揮し、お互いに相乗効果をもたらし、市全体を牽引しているとは言い難い状況です。

当委員会では、ふるさと上越の持続的な発展は、その中核となるべき高田と直江津の活性化なくしてありえないことを大前提とし、まずは、両地域をそれぞれの個性を活かし活性化させます。そしてその運動の中より示唆を得、両地域の力を十分に調和させる場面を創出し、それがふるさと上越を照らす希望の光となるよう、1年間の運動を展開します。始めに、直江津において若い世代を中心に、より一層地域理解を深める運動を展開します。これにより、コミュニティ単位で見られる住民同士の強固な絆と、住民が持つ高い直江津愛をより一層高め、地域を活性化させます。次に、高田においてその中心市街地の利便性を活かし、若者が躍動できる機会を創出する運動を展開します。地域に新しい風を吹き込み世代間の力を調和させることで、地域を活性化させます。最後に、それぞれの事業を通じ改めて確認できた個性と魅力を、お互いにより一層理解し尊重するきっかけ作りを行います。その上で、両地域が、固有の魅力を発揮し向上心を与え合いながら調和する事業を実施します。これにより市内各区にも刺激と希望を与え、市全体の活性化を目指します。

特有の個性と魅力を持つ高田と直江津が、その潜在能力を如何なく発揮し、それらの力を調和させることで、上越市のより強固な「核」が出来上がります。そしてその力は、広域上越市を力強く牽引し、持続可能な明るく豊かな社会を実現していく原動力となります。

【委員会職務分掌】

1. 会員拡大への協力
2. 上越オクトーバーフェスト2016への参画
3. 直江津のまちを活性化させる事業の実施と報告
4. 高田のまちを活性化させる事業の実施と報告
5. 直江津と高田がお互いをより一層理解・尊重した上で、両者が調和する事業の実施と報告
6. 上田J C、米沢J Cとの交流事業の実施